

PII 2010 年-- 日本語 302 のシラバスとスケジュール

1. 講師 (コウシ)

- なずきあん富美子 (ふみこ)
オフィスアワー: 月曜日～金曜日 2時～3時
Eメール: fn2108@columbia.edu
- 松井恭子 (まつい きょうこ)
オフィスアワー: 月曜日～金曜日 2時半～3時半
Eメール: hmatsui@princeton.edu
- 田中民恵 (たなか たみえ)
- 小寺弘子 (こでら ひろこ)

2. 授業時間と講師

1 時間目	9:00~10:00	(なずきあん/松井)
2 時間目	10:10~11:00	(なずきあん/松井)
3 時間目	11:10~12:00	(田中/小寺)

3. 教材 (キョウザイ)

- (a) 絵本『千と千尋の神隠し』 Miyazaki, H. (2001). Tokuma Shoten. ISBN4-19-861406-7
- (b) コースパッケージ: テキスト、文法ノート、漢字単語リスト、宿題
- (c) 映画: 『千と千尋の神隠し』 Suzuki & Miyazaki. (2001).
- (d) Blackboard <https://blackboard.princeton.edu/webapps/login/>

4. 推薦 (スイセン) 辞書

- 1) 「日本語基礎文法辞典」 Makino, S. & Tsutsui, M. (1986). *A Dictionary of Basic Japanese Grammar*. Tokyo: The Japan Times.
- 2) 「日本語文法辞典中級編」 Makino, S. & Tsutsui, M. (1995). *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar*. Toyo: The Japan times.

5. 学習目標 (ガクシュウ モクヒョウ)

全体(overall):

- a) 『千と千尋』の内容(content)を楽しみながら、日本の文化、宗教、人々の考え方、作者(author)の意図(intention)などを理解する。
- b) 日本のポップカルチャーや日本の伝統的な芸能が日本の文化にどう影響(influence)しているか考える。
- c) このような話題(topic)について、日本語で話し合えるようになる。

言語(language):

- 1) 話す

PII '10 3 年生 (後半) JPN302 Syllabus

- アニメやビデオなどについてよく聞いたり話したりし、またロールプレイなどで練習して、日本語らしい発音を覚える。
- 環境 (かんきょう) などの問題について自分の意見が言える。
- 接続詞(conjunctions)などを使って、自分の意見や考えが、まとまりのある (cohesive) 文や段落(paragraph)で言えるようになる。
- 少し複雑な状況 (complicated situation) でも、日本語でコミュニケーションして問題を解決(solve)できるようになる。
- ACTFL Guideline で中級の中になることを目標(goal)にする。

2) 聞く

- 教師やクラスメートの言うことがほとんど分かるようになる。
- ビデオの内容がだいたい(mostly)分かるようになる。
- ACTFL Guideline で中級の上になることを目標にする。

3) 読む

- 知らない言葉や漢字がある読み物でも、大体の内容が推測(guess)できるようになる。
- 長い読み物を読むことに慣れる (be used to)。
- ACTFL Guideline で中級の上になることを目標にする。

4) 書く

- 日本語で、文を書いたり、タイプしたりすることに慣れる。
- 読んだり話したりした内容を要約する(summarize)ことができる。
- 習った文法や単語、接続詞を上手にを使って、自分の考えや意見が段落(paragraph)の長さで書けるようになる。
- 書ける漢字の数を増やす(increase)。
- ACTFL Guideline で中級の中-上になることを目標にする。

*ACTFL Proficiency Guidelines

<http://www.sil.org/lingualinks/languagelearning/OtherResources/ACTFLProficiencyGuidelines/contents.htm>

6. 評価 (ヒョウカ) の基準 (キジュン)

1. 出席 5%
2. クラス参加 (「対話」でのパフォーマンスも含む) 15%
3. 宿題 20%
4. 小テスト 15%
5. まとめのテスト 5%
6. プロジェクト (スピーチ) 12%
7. スピーチドラフト 3%

8. 期末試験 25%

★注意 (チュウイ)

- (a) 中間試験はない。
- (b) 昼ごはんのときに「千と千尋」の映画を3回ぐらいで見る。これには、
かならず参加(participate)しなければならない。
- (c) 日本語テーブルに参加した人には、1回につき0.1 point、0.5points まで最後の成績にもらえる。
- (d) Language Pledge: リファールの中と課外活動中は、日本語だけで話すこと。
302の学期の最後に、だれがよく Language pledge を守っていたか、
投票(vote)してもらおう。一番票(point)が多かった学生には賞状と賞品を
与える。

6. 出席とクラス参加

- 授業には、毎回、時間までに来なければいけない。
- 日直をきちんと(properly)して、クラスに積極的に(actively)参加しなければ、出席
していてもクラス参加点はもらえない。
- 授業に理由なく(without any reason) 5分以上遅れた(be late more than 5 minutes)
場合は、遅刻になり、3回の遅刻が1回の休みとして数えられる(be counted)。
- 病気で休む時は、Eメールか電話をし、後で医者からの書類(doctor notes)を
提出(submit)した場合は、休みとして数えられない。

7. 宿題

- 1) 単語表、文法ノートを見ながら、「千と千尋の神隠し」をよく読んで来る。
前の日までの内容の要約を言えるようにしておく。
- 2) 内容質問と文法・言葉の宿題をその日の一時間目に出す。

<宿題の採点(Grading)>

- 宿題は提出日(due date)の1時間目の授業の始めに出す。
- V+ (3pts.=full point) : よく考えて完成(complete)した宿題を、提出日の授業の
始めに出した場合。
- V (2pts.) ~ V- (1pt.) : 完成していない宿題や、よく考えないでやった宿題を提
出日に出した場合。
- 提出日に出さなかったら点(point)はありません。

8. テスト

- 1) 小テスト: まとめのテストがない日は、毎日小テストを2時間目にする。
- 2) まとめのテスト: 7月5日(月)と7月12日(月)の2時間目にする。

- ▶ テストは授業の始めにする。
- ▶ 病気などの理由で受けられない場合、事前に先生に許可(permission)をもらい、メイクアップの日を決める(doctor notes を出すこと)。
- ▶ 理由なく休んだり遅刻をして、テストが受けられなかった場合、メイクアップは受けられない。

3) 期末テスト : 7月 22 日 (木) 1 ~ 3 時間目

- ▶ 話す試験と書く試験がある。詳しい内容は、後で説明する。

9. 対話の日直

「対話」ではいろいろな意見を話し合う。担当者はグループのみんなから意見をひきだしたり、まとめたり、言いかえたりして、ディスカッションのリーダーとなる。

トピックの例 :

1. 日本でおもしろいと思ったこと、変だと思うこと
2. ホームステイに期待すること
3. 日本に関して興味があること

10. プロジェクトスピーチコンテスト

7月 16 日金曜日の午後、PII の各学年の代表がスピーチを発表する。ドラフト 1 を 7 月 2 日に、ドラフト 2 を 7 月 7 日に、ドラフト 3 を 7 月 12 日に出すこと。スピーチを聞く人は PII の学生、先生、IFIE の人たち、それからホストファミリーです。聞く人にどんなメッセージを伝えたいか考えましょう。それから、それをどう伝えるか考えてください。

11. 授業の内容

< 1 時間目 >

- 学生の一人が交代でディスカッション・リーダーになり、ほかの学生に質問をする。学生は 3 ~ 4 人のグループに属して、そのグループを代表して質問をする。
- 前日の内容の要約
- 文法・単語の練習
- 内容と文化の説明

< 2 時間目 >

- 小テスト(7分): 授業の始めにする
- 1 時間目の続きをする。
- 内容質問

PII '10 3 年生（後半）JPN302 Syllabus

学生の一人が交代でディスカッション・リーダーになり、ほかの学生に質問をする。学生は3～4人のグループに属して、そのグループを代表して質問をする。

- テキストの音読

< 3 時限間目 >

- 言葉の使い方の練習
- 会話練習／ロールプレイ
- まとめのテストがある時はテストに 20 分、会話練習に 30 分。